

浜松市文化財情報

発行：浜松市文化財課

浜松市中区元城町103-2（本庁6階）

TEL：053-457-2466

FAX：053-457-2563

Mail：bunkazai@city.hamamatsu.shizuoka.jp



Vol. 44
2011/10/15

金銀装円頭大刀（浜松市指定有形文化財）

全国山城サミット浜松大会まであと少し！

いよいよ待望の第18回全国山城サミット連絡協議会浜松大会（全国山城サミット浜松大会）が11月19日（土）、20日（日）に開催されます。昨年の津山大会（17回大会）での正式決定から約1年。名だたる戦国武将たちが山城の争奪を繰り広げた歴史を持つ浜松の地に、「全国山城」が集結します。

浜松大会のテーマは、「徳川・武田争奪の城郭群を活かしたまちづくり」

徳川と武田は、なぜ浜松の城の争奪を繰り返したのか？なぜ浜松で激突したのか？

その時、信長は！？ 秀吉は！？

◆基調講演は小和田哲男さん

11月19日（土）はアクトシティ浜松・中ホールにおいて、基調講演・協議会・シンポジウムが開催されます。（午前9時30分開場、午前10時開演 入場無料・事前申込不要）

静岡県指定無形民俗文化財・滝沢の放歌踊（浜松市立都田中学校放歌踊り倶楽部）のオープニングの後、市内の山城をはじめ全国の山城に造詣が深い、小和田哲男さん（静岡大学名誉教授・文学博士）による基調講演「徳川・武田の抗争と遠州の山城」を予定しています。

小和田さんの専門は日本中世史、特に戦国時代史で、戦国時代史研究の第一人者として知られています。また、テレビ番組への出演も多く、わかりやすい解説には定評があり、NHK大河ドラマ「秀吉」、「功名が辻」、「天地人」、「江～姫たちの戦国～」では時代考証を担当していらっしゃいます。

浜松大会のテーマ「徳川・武田争奪の城郭群を活かしたまちづくり」の導入部として重要かつ興味深い内容の講演を聞くことができますので、ぜひお聞きのがしなく！



小和田哲男さん

◆徳川・武田争奪の城郭群をどう活かすか

午後1時から協議会が開催されます。協議会加盟の自治体が、自慢の山城をステージ上で紹介します。気持ちの入ったアピールタイムです。そして、次期開催地がここで決定されます。あなたも「運命」の瞬間にぜひ立ち会ってください！

その後は、事例報告とシンポジウムが続きます。浜松の特徴である徳川・武田争奪の城郭群をまちづくりにどう活かしていくべきか、熱い思いや貴重な意見が飛び交うことでしょう。



◆二俣城・鳥羽山城を見る

11月20日（日）は天竜区二俣町にある二俣城と鳥羽山城の現地見学会を実施します。こちらは定員60名で、往復はがきによる事前申込み制、参加費が1,000円必要となります。しめきりが10月21日（金）必着となっていますので、興味のある方はお早めにお申込みください。なお、応募者が定員を超えた場合は抽選になります。

【申込み方法】往復はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、「全国山城サミット浜松大会山城現地見学会参加希望」を明記の上、浜松市文化財課（〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2）までお申込みください。はがき1枚につき、1人の申込みになります。なお、お手数ですが、返信面には郵便番号・住所・氏名をお書きください。



二俣城



鳥羽山城

全国山城サミット浜松大会の詳細については、チラシまたはWEB（「浜松市 文化財 全国山城サミット」で検索）をご覧ください。

郷ヶ平古墳群の現地説明会を開催しました

去る10月2日(日)、青空の下、郷ヶ平古墳群の現地説明会を開催しました。当日は、地元の方をはじめ、各地より、235名の方にご参加いただきました。

説明会では、市指定史跡の「郷ヶ平4号墳」(前方後円墳)の解説の後、今回実施した3号墳(西暦500年頃に築造)での発掘調査の成果を、担当した職員により詳しく説明しました。また、郷ヶ平古墳群から出土した遺物も合わせてご見学いただきました。最近の歴史ブームを反映して、熱心な方が多く、細かなところまで何度も質問する方もいらっしゃいました。特に、今回出土した馬や人をかたどった馬形埴輪と人形埴輪には、参加者の関心も高く、身をのりだして見学をしたり、写真を熱心に撮ったりする方が多くいらっしゃいました。



郷ヶ平3号墳は、現地説明会の後、発掘調査を進めた結果、全長がおよそ23mの前方後円墳であることが分かりました。また、古墳の周りに掘られた周溝(しゅうこう)からは、引き続き多くの埴輪が出土しています。現地説明会でも注目された馬形埴輪は、割れてはいますが、復元が見込まれるものです。静岡県内でも、全体形が分かるものは数点しかなく、人物埴輪とともに復元されることが期待されます。
★発掘作業は、11月末日までの予定で、今後も行ってまいります。発掘現場にお立ち寄りいただければ、職員が解説をいたします。



馬形埴輪

文化財日記抄

9月には、こんな調査活動などを行いました。

5日(月)	西区庄内町	宿蔭寺資料調査
6日(火)	中区西伊場町 北区都田町	三永遺跡試掘調査 郷ヶ平古墳群本発掘調査開始(～11月)
9日(金)	西区雄踏町	中村家住宅維持管理状況現地確認
12日(月)	北区引佐町 西区庄内町	農村舞台現況調査 宿蔭寺石塔調査(～13日)
14日(水)	西区舞阪町	浜西遺跡試掘調査
15日(木)	北区引佐町	方広寺近代和風建築現地調査
16日(金)	天竜区二俣	二俣城跡、鳥羽山城跡現状確認
16日(金)	西区志都呂町	妙相寺のイヌマキ現状確認
22日(木)	西区坪井町	坪井町新田北遺跡試掘調査
27日(火)	浜北区上島	新田組龍燈保存修理工事現地確認
29日(木)	北区引佐町	龍潭寺本堂保存修理工事完成検査

■ 台風15号被害状況現地調査	9.26.(月)	北浜の大力ヤノキほか [浜北区本沢合ほか]
9.21.(水) 姫街道の松並木 [中区葵西ほか]	10.06.(木)	秋葉神社 [天竜区春野町]
9.23.(金) 龍潭寺、方広寺 [北区引佐町]	10.07.(金)	気質のウルシほか [北区細江町]
9.25.(日) 方広寺 [北区引佐町]		

文化財イベント

■ 10月23日(日)

市指定無形民俗文化財「勝坂神楽」

勝坂神楽奉納

▶ 正午～午後2時頃/天竜区春野町豊岡

■ 10月29日(土)

県指定無形民俗文化財「川合花の舞」

川合花の舞奉納

▶ 午後3時頃～翌朝/天竜区佐久間町川合「八坂神社」

県指定史跡「赤門上古墳」等

遠州山辺の道古墳めぐりウォーク

▶ 午前10時～正午頃/浜北区内野台ほか

※お申込み受付は終了しました。

台風15号による文化財関係被害状況について

9月21日午後、本市に上陸した台風15号は、停電、断水、道路の寸断などライフラインに甚大な影響を及ぼしました。文化財も例外でなく、建造物や記念物を中心に指定・登録文化財25件の被害が確認されました。

今回の台風では、暴風雨の影響と見られる被害が多発しました。軽微なものでは建造物の屋根瓦のずれから、大きなものでは屋根の損壊、樹木の倒木や枝折れ、斜面の崩落などが確認されています。

国登録有形文化財「天竜浜名湖鉄道機関車扇形車庫」では南側屋根が損壊しました。飛散した部材による2次被害はありませんでしたが、車庫上部が吹き飛ばされた光景にはあらためて自然の脅威を感じました。



国指定重要文化財「方広寺七尊菩薩堂」では直下の崖地が崩落しました。幸いにも文化財そのものは無事でしたが、今後崩落が進んだ場合、文化財ごと地滑りすることも想定されるため、現在対応策を検討しています。

その他、記念物のうち樹木関係の被害が多く確認されました。天然記念物の倒木や枝折れのほか、古墳など史跡内の立木が倒木しました。

市内で一度にこれだけの文化財が被害を受けたことは過去に例がありません。調査を進めながら早急に復旧・整備に取り組むとともに、所有者や地域の皆さまとともに災害への備えを万全にしたいと思っております。



編集後記

先日、浜松を直撃した台風15号、みなさんの周辺は大丈夫でしたか?文化財課でも、今回、改めて災害に対する備えの大切さを痛感しました。来年2月、文化財課では過去の災害に学び、被災した文化財を救うための活動を紹介する「文化財と防災に関する講座」を開催しますので、興味のある方は、ぜひ受講ください。